

◎ 新しい学校のあり方についてのワークショップ（18歳以上の市内在住者）

	A班	B班	C班
1. 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層や PTA 等の地域との交流の場の機会確保が重要である。部活の特別顧問や地域行事への参加により、交流の機会を作っていけるのではないかな。 工場見学や職場体験等、企業と連携して地元企業への愛着を持ってもらえるようになるとうい。 子どもが使う施設のため、子どもファーストとすることが重要である。当事者意識をもち、口コミ等の広報で話し合いの場に参加してもらう必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が学校に関わりやすい相談窓口や不登校の生徒の支援に関する環境が整備されるとよい。 図書館や中庭などの施設が学校生活だけでなく放課後でも子どもたちの居場所になれるとうい。 うきは市の山間部との交流、農業などの企業とタイアップした授業や、iPad の柔軟な活用など、子どもたちが多様な教育に触れる機会があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一に学校施設等のハード面が重要である。広さや空調等の快適性や児童生徒が関りを持てる教室等の動線設計を求める。 ICT 教育や子ども達の豊かな感性を育めるよう、専門知識や技術を備えた幅広い教員が必要である。 地域や社会とのかかわりを持ちつつうきはらしさを出せるよう、地域産業を活かした職場体験を行えるとよい。
2. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもファーストに取り組むことが特に重要であり、その上で地域の方や地元企業との交流をおこない、地元への愛着を持ってもらうことがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携した良好な教育環境や、子どもの居場所となるような施設が重要であり、その中で、子ども達が多様な教育を享受できる環境整備が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 充実した施設を整備するハード面が特に重要であり、その上で子ども達の教育の充実や地域との関わりの構築を行うことがよい。

◎ ワークショップの様子（フォトギャラリー）

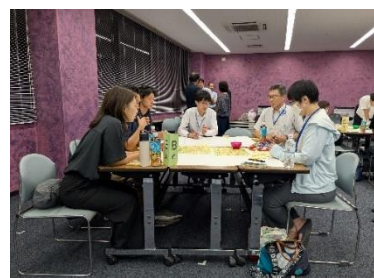
● A班

A班まとめ



● B班

B班まとめ



● C班

C班まとめ

